大切なお子様の安全のために正しくお使いください。

カーズ フライングジェット 三輪車

取扱説明書

目次

お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

ides

① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。

⚠警告 身体に関する危険
守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

財物や商品本体に関する危険
守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

② 安全上の注意事項

【ご使用のお客様へお願い】

本商品は公園など、屋外での使用を前提に企画されております。人通りの多いところでは、人にぶつかるなど思わぬ怪我の原因となることもありますので十分ご注意ください。店舗などにおけるご使用につきましては、その店舗の運営者にご確認の上、ご使用されるようお願い致します。

●SGマーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する保証制度です。
●この商品はSG基準により安定性、走行性、耐荷重、耐衝撃に合格した商品です。
●ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので、安心してお乗りください。
●対象年齢：1.5歳～5歳未満　身長目安：80cm～100cmまで　乗車体重：20kgまで

●安心ガードは、SGマーク制度対象外です。
●PLI制度はSGマーク制度対象外の製品及び部品の欠陥によって事故があった場合に補償する当社固有の制度です。

⚠警告

●初めて乗るお子様は、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。
●お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
●ご使用の際は、必ずお子様に靴を履かせてからご使用ください。裸足で使用すると隙間などで思わぬ怪我をする恐れがあります。
●坂道での使用は避けてください。
●交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
●2人乗りなどの危ない乗り方は絶対しないでください。
●車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないでください。
●斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
●三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
●お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
●幼児の足がペダルにのっている場合、コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
●コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
●コントロールバーとステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーとステップは取り外してください。
●幼児、子供にコントロールバーを操作させないでください。
●コントロールバーの操作は必ず保護者が行い、幼児の足が巻き込まれないように注意してください。
●コントロールバーを付けた状態で使用するときは、必ずステップを使用し、ロック&フリー機能をフリーの状態にしてください。
●お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
●コントロールバーに物をかけたりすると倒れる恐れがあるので、物をかけないでください。
●業務用・団体用で使用しないでください。
●三輪車以外の目的では使用しないでください。
●小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。

《乾電池を誤使用すると発熱、破損、液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。》

●充電池（ニカドなど）およびニッケル系乾電池（オキシライド乾電池など）は使用しないでください。
●古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使用しないでください。
●長時間使用しないときは必ずスイッチを切り、電池を外してください。
●+－（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
●電池をショートさせたり、充電、分解、加熱したり、火の中に入れないでください。
●万一、電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い医師に相談してください。皮膚や、服に着いたときは水で洗ってください。

注意

●使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
●火気のある所、高温の場所には近づけないでください。
●屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
●長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。
●砂場や水たまりで使用しないでください。

※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」、「注意」が表記してありますので、そちらもお読みください。

③ 梱包内容

フレーム：1

前輪付きハンドル：1

サドル：1

背もたれ：1

コントロール バー㊦：1　コントロール バー㊤：1

ステップ：1

ステップ 取り付け部品：1

安心ガード右 / 左：各 1

シャフト付き後輪：1

後輪：1

前バスケット：1

後バスケット：1

ブザー：1

取扱説明書：1

小部品

ステップ ホルダー：1

ホイールキャップ：1

角根ネジ長 (55mm)：2

角根ネジ中 (48mm)：2

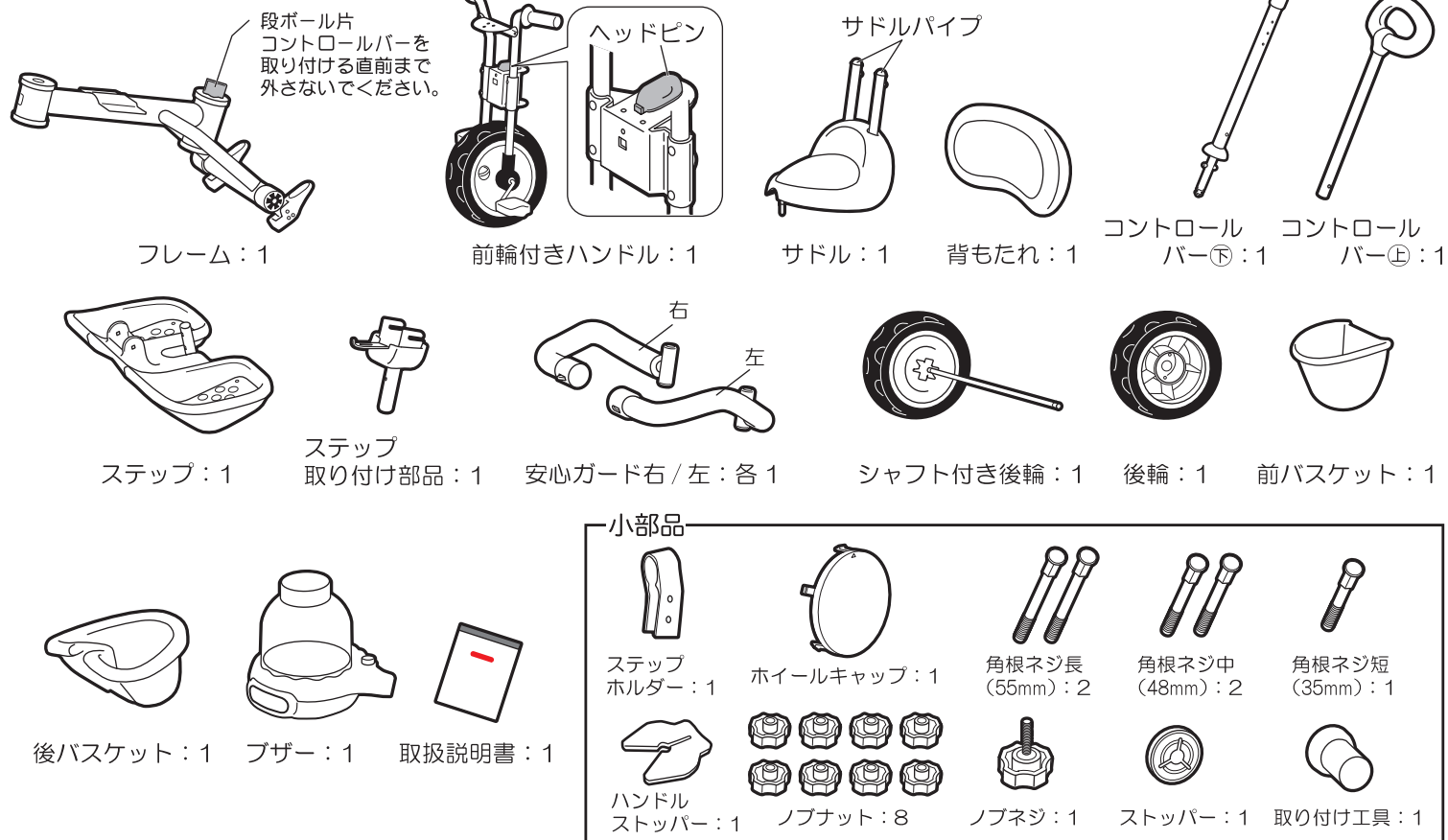
角根ネジ短 (35mm)：1

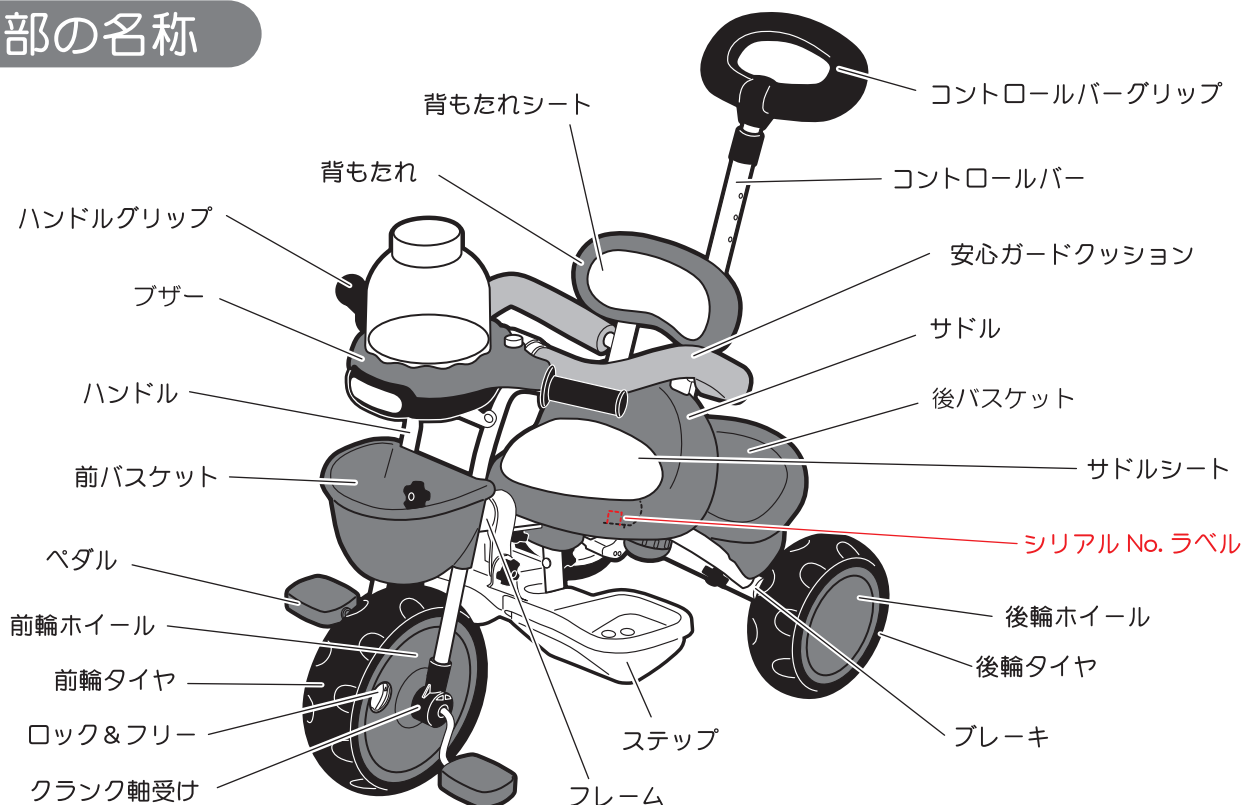
ハンドル ストッパー：1

ノブナット：8

ノブネジ：1

ストッパー：1

取り付け工具：1

※タイヤ、安心ガードクッションは材質の特性上、輸送時の衝撃などで表面に凹みが見られる場合がありますが、問題なくご使用いただけます。

④ 各部の名称

【材質】

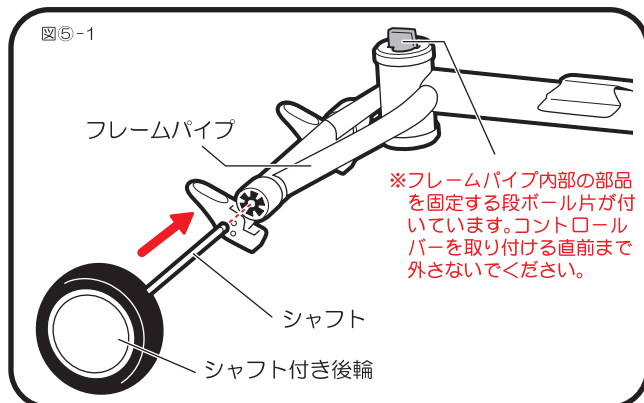
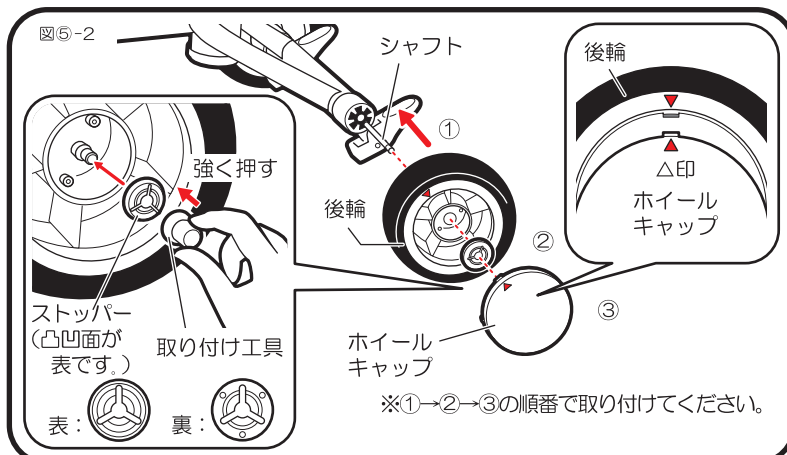
部品	材質
フレーム	スチール
ハンドル	スチール
コントロールバー	スチール
安心ガード	スチール
コントロールバーグリップ	ポリプロピレン(PP)
前バスケット	ポリプロピレン(PP)
後バスケット	ポリプロピレン(PP)
サドル	ポリプロピレン(PP)
前 / 後輪ホイール	ポリプロピレン(PP)
背もたれ	ポリプロピレン(PP)
ステップ	ポリプロピレン(PP)
サドルシート	塩化ビニール(PVC)
背もたれシート	塩化ビニール(PVC)
ハンドルグリップ	塩化ビニール(PVC)
前 / 後輪タイヤ	エチレン酢酸ビニル共重合体(EVA)
安心ガードクッション	ポリウレタン(PU)
ブザー	ABS/K レジン

●ネジの種類の確認

・ネジは 3 種類あります。右図は原寸のイラストと使用箇所の記載です。確認のためにご使用ください。

⑤組み立て方法

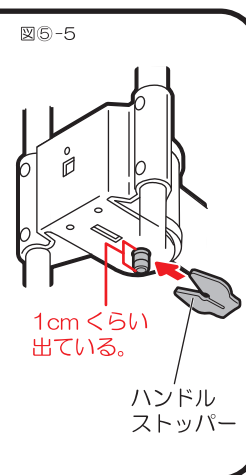
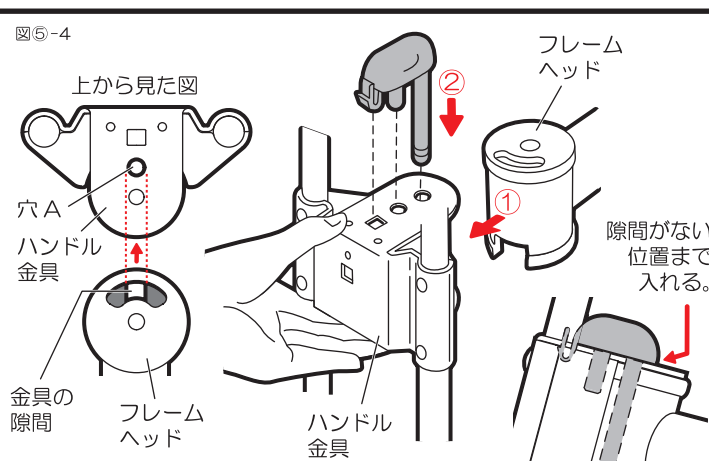
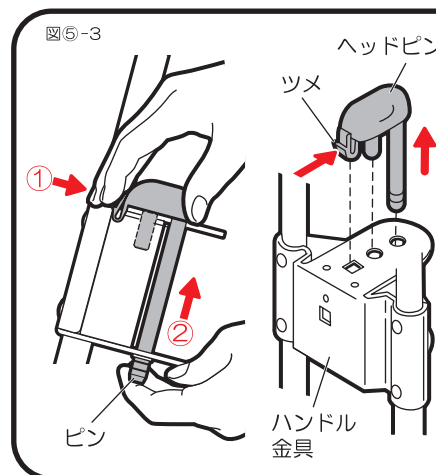
本書にそって三輪車の組み立てが完了しましたら、【三輪車 組み立てチェック表】を確認し、最終チェックを行ってください。お子様が三輪車に乗っている状態でチェックしないでください。

●シャフト付き後輪の取り付け

・シャフトをフレームパイプに通します。

注 意

●ストッパー取り付け後、後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。
●ストッパーは、一度取り付けると外すことができませんのでご注意ください。

●後輪の取り付け

①シャフトに後輪を通します。
②取り付け工具を使用してストッパーで固定します（取り付け工具はストッパーを固定したら不要となりますので、ホイールキャップの中には入れないでください)。
③後輪取り付け確認後、ホイールキャップを取り付けます。後輪の▲印とホイールキャップの▲印を図のように合わせてはめ込んでください。ホイールキャップのツメが確実に取り付けられていることを確認してください。

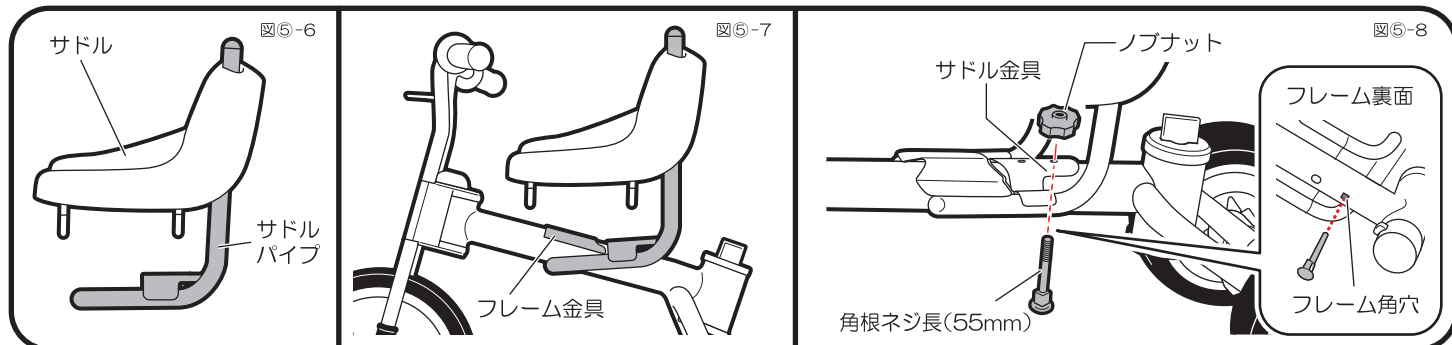
●ハンドルの取り付け

・ハンドルを取り付ける前に、ハンドル金具に付いているヘッドピンを取り外します。
・ヘッドピンのツメを矢印①の方向に押しながら、ハンドル金具の下部分から出ているピンの先端を矢印②の方向に押し上げ、引き抜いてください。

・ハンドル金具にフレームヘッドを矢印①の方向に入れます。
・フレームヘッドの長い穴から見える金具の隙間とハンドル金具の穴 A が合うように入れてください。金具の隙間と穴 A がズレているとヘッドピンが根元まで入りません。
・ハンドル金具の穴に矢印②の方向でヘッドピンを入れます。その際ハンドル金具の下部分を支えながら差し込みます。下部分を支えないで組み立てようとすると、ハンドル金具が曲がる恐れがあります。
・ハンドル金具の上面とヘッドピンに隙間がない位置まで、ヘッドピンが入っているか確認してください。

・ハンドル金具下からヘッドピンの先端が 1 cm くらい出ていることを確認してください。
・ピン先端の溝にハンドルストッパーを取り付けます。

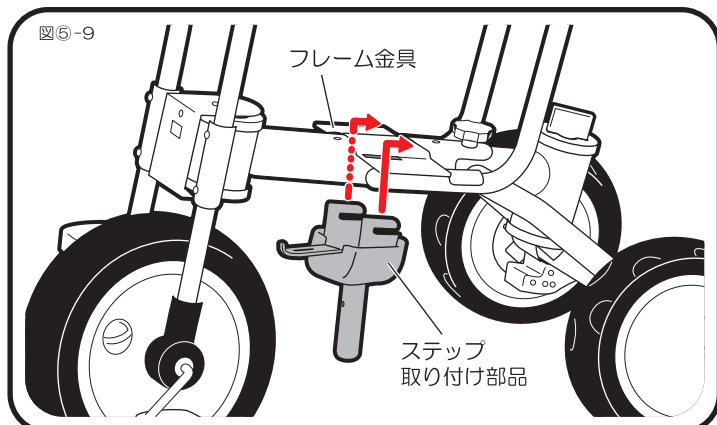
注 意

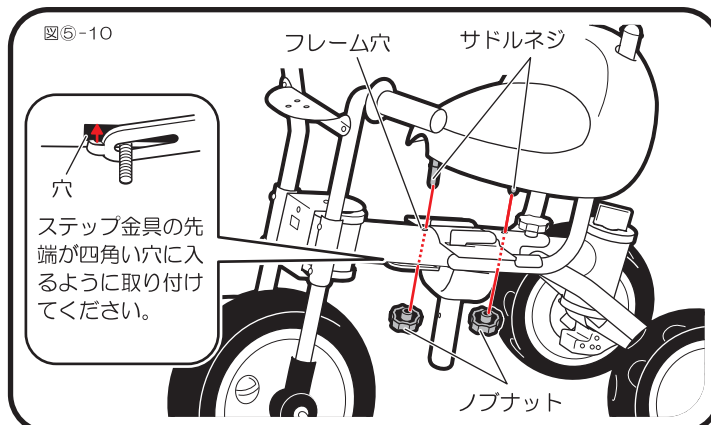
●ハンドル金具の下からヘッドピンの先端が 1cm くらい出ていない場合は正常な組み立てではありませんのでご注意ください。
●ヘッドピンを差し込まない状態で無理な力を加えないでください。ハンドル金具が変形して、ヘッドピンが固定できなくなります。

●サドルパイプの取り付け

・サドルをサドルパイプから引き上げて、図のようにしてください。

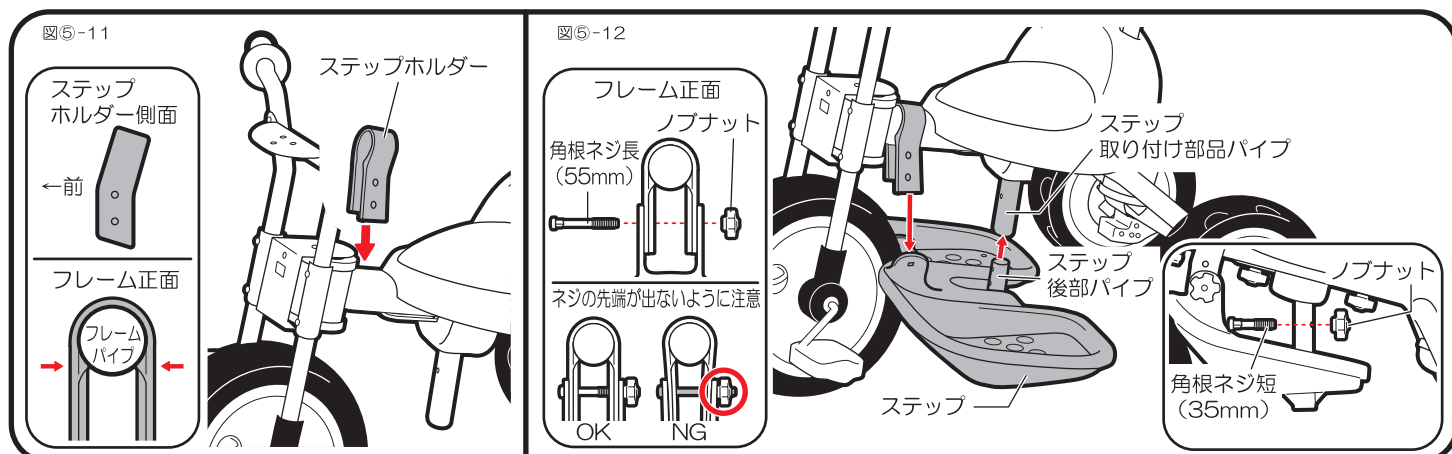
・サドルパイプの先端がフレーム金具の下になるように置いてください。

・フレーム角穴から角根ネジ長(55mm)を入れ、ネジ先端がサドル金具の穴から出たらノブナットで強く締めつけてください。

●ステップ取り付け部品の取り付け

・ステップ取り付け部品の先端をフレーム金具の穴に入れ、後ろへずらして引っかけてください。

●サドルの固定

・サドルを押し下げ、サドルネジをフレーム穴に貫通させてください。
・フレーム下からネジ先端が出たらノブナットで固定してください。

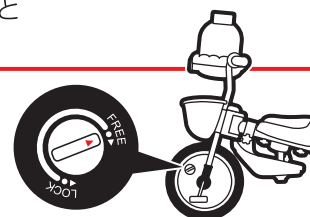
●ステップの取り付け

図⑤-12
フレーム正面
ノブナット
角根ネジ長
(55mm)
ネジの先端が出ないように注意
OK
NG
ステップ
取り付け部品パイプ
ステップ
後部パイプ
ステップ
ノブナット
角根ネジ短
(35mm)

・ステップホルダーをフレームパイプに差し込みます(前後注意)。

・ステップホルダーをステップ前部の内側へ、ステップ後部パイプをステップ取り付け部品パイプへ同時に差し込みます。
・ステップ前部を角根ネジ長(55mm)とノブナットで締め付けます。ネジの先端がノブナットの表面から出ないように注意してください。
・ステップ取り付け部品パイプを角根ネジ短(35mm)とノブナットで締め付けて固定します。

必ず確認してください。

ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。

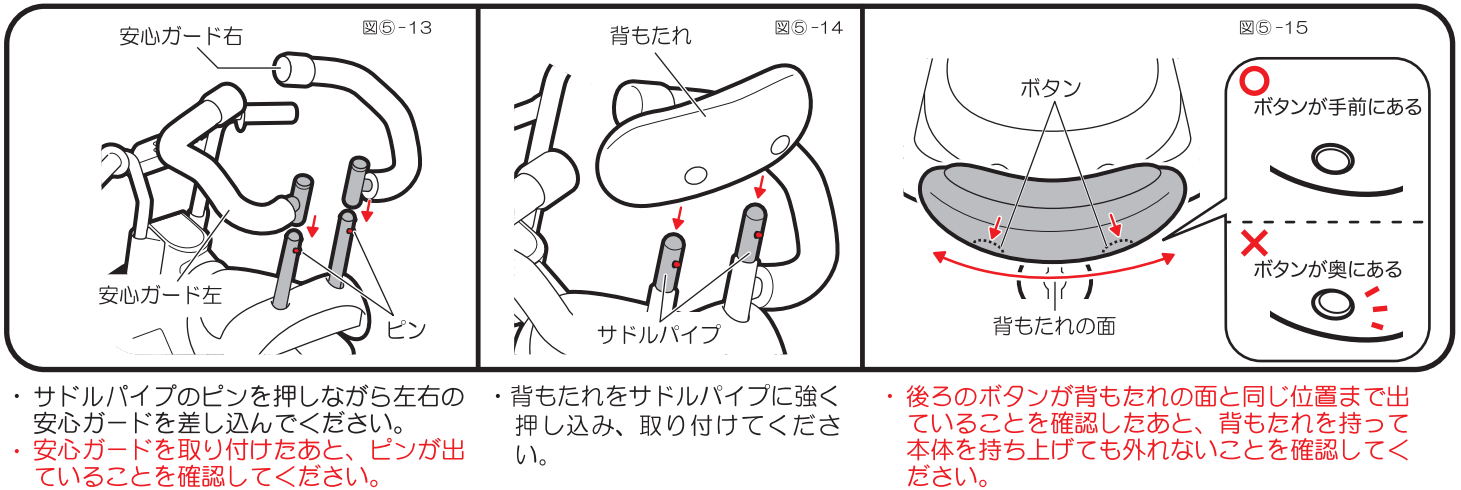
※ロック＆フリー機能については 8 ページ【ロック＆フリーの取り扱い】を参照してください。

注意

●ステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになったら必ず外してください。
●ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。
●ステップ、サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

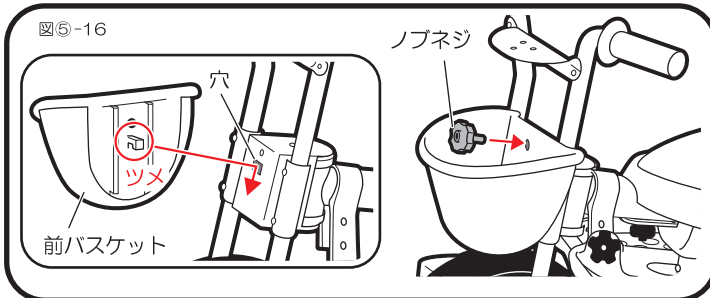
●背もたれ、安心ガードの取り付け

・サドルパイプのピンを押しながら左右の安心ガードを差し込んでください。
・安心ガードを取り付けたあと、ピンが出ていることを確認してください。

・背もたれをサドルパイプに強く押し込み、取り付けてください。

・後ろのボタンが背もたれの面と同じ位置まで出ていることを確認したあと、背もたれを持って本体を持ち上げても外れないことを確認してください。

⚠警告 ●安心ガードを使用する際は手や指を挟まないように注意してください。

注意
●安心ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉時に無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉は保護者が行ってください。
●子供を乗せたまま背もたれやハンドル、安心ガードを持って車体を持ち上げないでください。

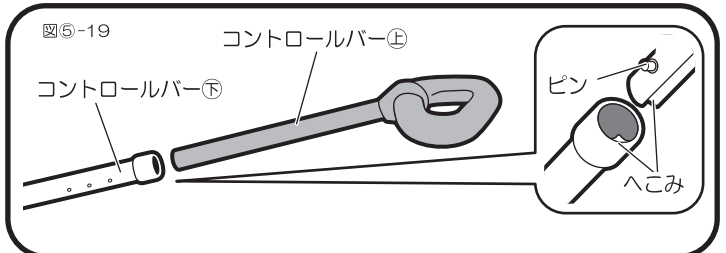
●前バスケットの取り付け

・前バスケット裏のツメをハンドル金具の穴に入れ、引っ掛けます。
・ノブネジでバスケットを固定してください。

●後バスケットの取り付け

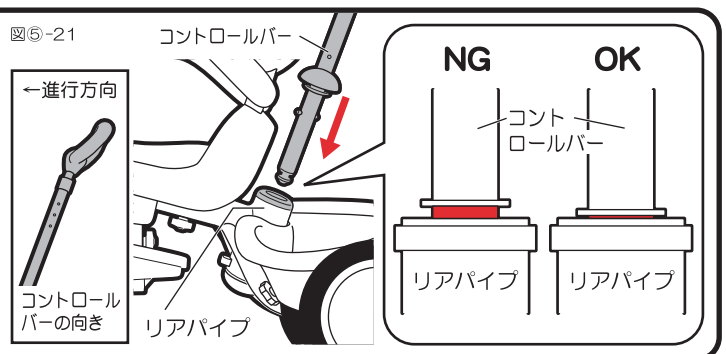
・後バスケットをフレーム後部にあてて、角根ネジ中(48mm)とノブナットで固定してください。

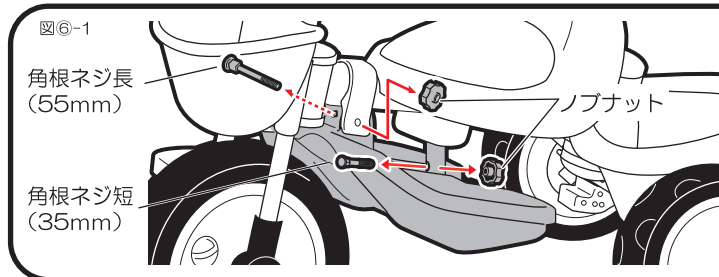
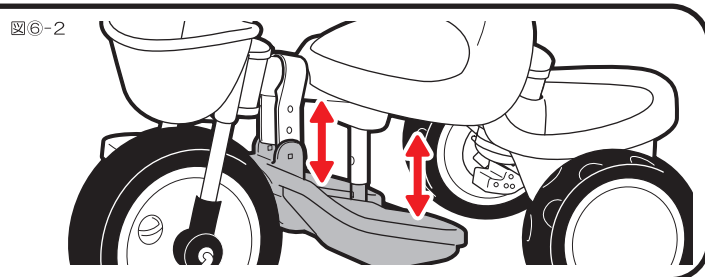
●ブザーの取り付け

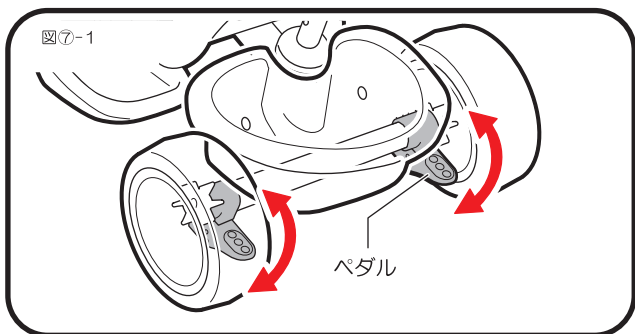
・ブザー底面のネジを取り付け金具の穴に差し込みノブナットで固定してください。(ご使用前にブザーのスイッチに付いているテープをはがしてください)。

●コントロールバーの組み立て

・コントロールバー㊤のピンを押しながら、コントロールバー㊦に差し込んでください。その際、パイプのへこみ方向を合わせるようにしてください。

●コントロールバーの取り付け

・フレームパイプ内部の部品を固定する段ボール片を引き抜き、ハンドルを直進位置(左右に曲げない)にして、リアパイプの溝と中部品の溝が合っていることを確認してください。溝がズレているとコントロールバーが入りませんのでご注意ください(ハンドルと中部品は連動して動きますので、中部品の溝がズレているときはハンドルを直進位置に動かしてください)。

・図のような向きでコントロールバーをリアパイプに差し込みます。コントロールバーがリアパイプにしっかりはまったことを確認してください(ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーはリアパイプに挿入できません)。差し込んだあと、コントロールバーを上方向に引っぱり、抜けないことを確認してください。

⑥ ステップの高さ調節方法

・ステップを固定している２カ所のノブナットをゆるめ、ネジを抜きます。

・ステップを上下させステップ前部、ステップ取り付け部品パイプのそれぞれの穴を合わせネジを差し込みノブナットで固定してください（ステップの取り付けの詳細は４ページ【ステップの取り付け】を参照してください）。

⑦ ブレーキの取り扱い

・ブレーキをかけたいときは左右のペダルを下げてください。
・ブレーキを解除したいときは左右のペダルを上げてください。

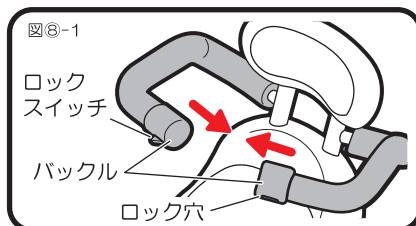
⚠警告

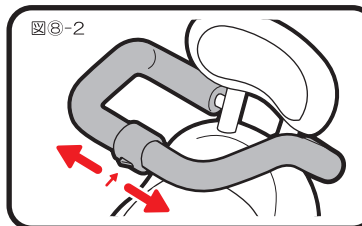
●三輪車の走行中にブレーキをかけないでください。転倒や故障の原因になります。ブレーキの操作は必ず停止した状態で行ってください。
●お子様を三輪車に乗せた時はブレーキを過信しないでください。ブレーキをかけても動き出す恐れがあります。
●ブレーキを操作する際は必ず左右のペダルを同じように操作してください。左右が揃っていないと正常に動作しません。

注 意

●ブレーキの上げ下げは保護者が行ってください。
●三輪車を動かす前に必ず、ブレーキが解除されていることを確認してください。ブレーキをかけたまま走行すると故障の原因になります。

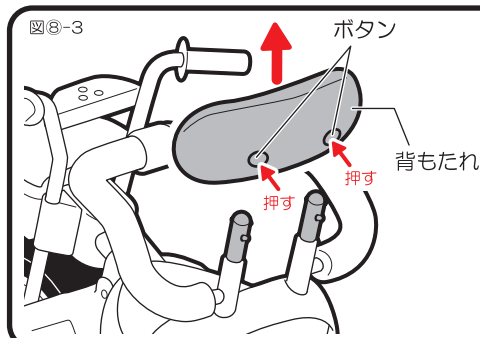
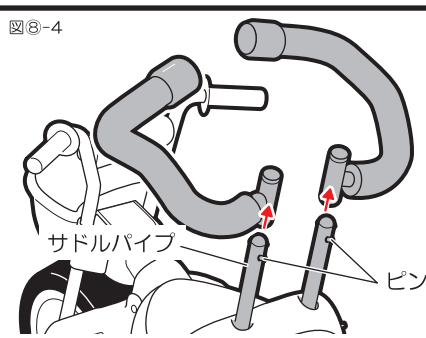
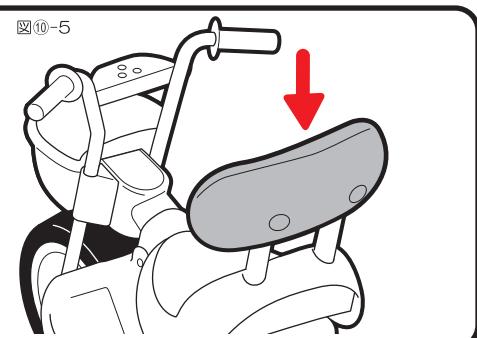
⑧ 安心ガードの開閉/取り外し方法

●安心ガードを閉める

・安心ガードの左右のバックルが三輪車の中心で重なるように合わせてください。バックルが重なるとロックスイッチがロック穴から出てロックがかかります。

●安心ガードを開ける

・ロックスイッチを押しながらバックルを左右に開いてください。ロックが解除され、安心ガードを開くことができます。
ロックスイッチを強く押し込みすぎないように注意してください。

●安心ガードを取り外す

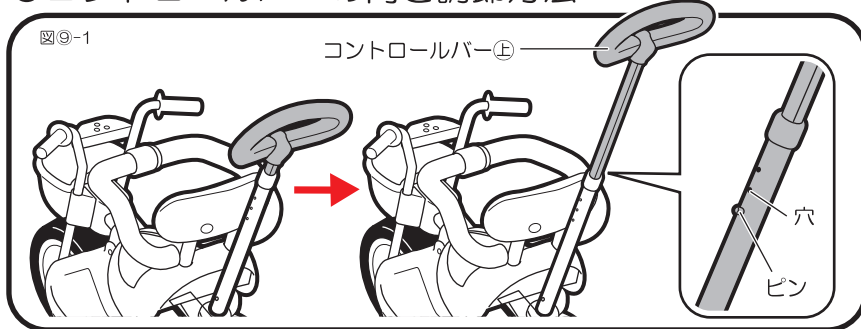
図⑧-4
サドルパイプ
ピン

図⑩-5

・ボタンを２つ同時に押しながら背もたれを上に引き抜いてください。

・安心ガードを開いた状態で、サドルパイプのピンを押しながら左右の安心ガードを取り外してください。

・背もたれを再度取り付けてください。（５ページ【背もたれ、安心ガードの取り付け】を参照してください）。

注 意

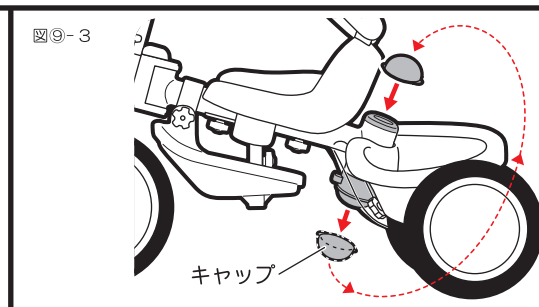
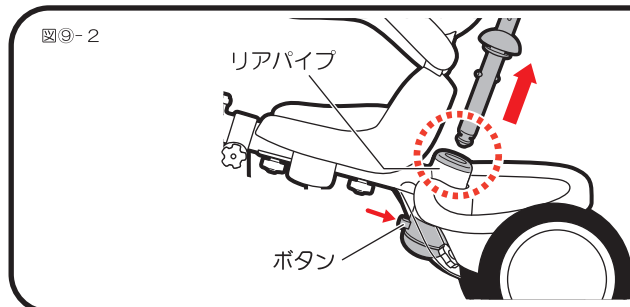
●背もたれを外したまま使用しないでください。
●子供を乗せたまま背もたれやハンドルを持って、車体を持ち上げないでください。

⑨ コントロールバーの調節/取り外し方法

●コントロールバーの高さ調節方法

・コントロールバーの横穴から出ているピンを押しながらコントロールバー㊤を上下させ、お好みの高さに調節してください。
・他の高さの穴からピンが飛び出るまでスライドさせてください。
ピンは必要以上に押し込まないようにしてください。押し込みすぎると、パイプの中に沈み込んでしまう場合があります。

⚠警告
●ピンが穴から飛び出ていることを確認の上、使用してください。ピンが出ていないと、使用中にコントロールバー㊤が抜けてしまう可能性があります。
●コントロールバーをご使用の際は、前輪をフリー状態（8ページ【ロック＆フリーの取り扱い】を参照してください）。
●コントロールバーのグリップ部分に荷物などを乗せたり、下げたりしないでください。

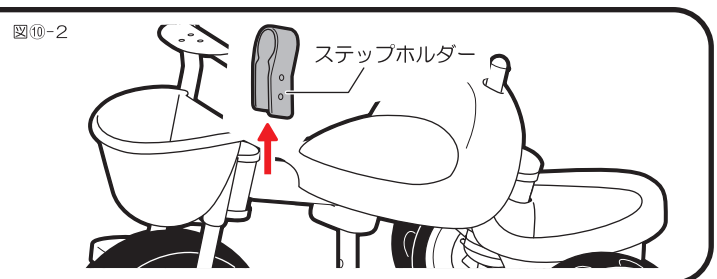
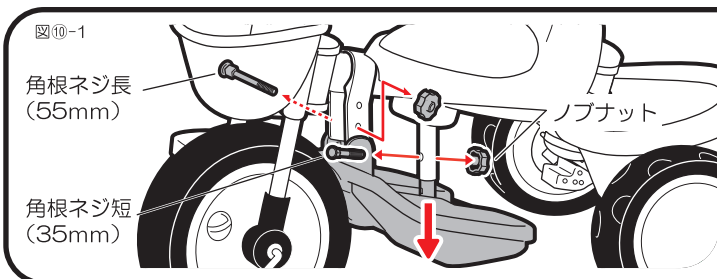
注 意
●段差のある場所でのご使用は避けてください。また、壁などにぶつけないでください。
●コントロールバーのかじとり機能には左右にあそびがありますが、設計上のものであり、異常ではありません。

●コントロールバーの取り外し方法

・ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、ボタンを押しながらコントロールバーをリアパイプから引き抜きます。ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーは抜けません。

・リアパイプ下側からキャップを外しリアパイプの上に取り付けてください。

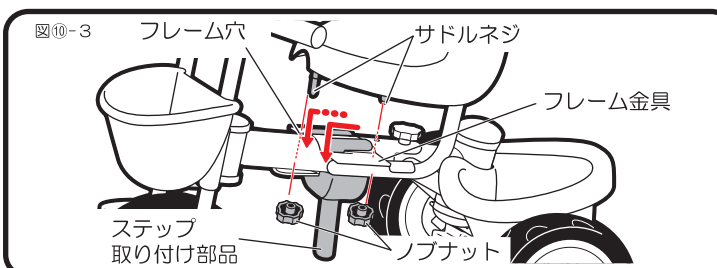
⚠警告
●コントロールバーを外した後は必ずキャップをリアパイプ上側に取り付けてからご使用ください。キャップを取り付けずに使用するとケガをする恐れがあります。
●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。部品をふりまわすなどして思わぬ怪我の原因になります。また小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

注 意
●キャップの取り外し、取り付けは保護者が行ってください。

⑩ ステップの取り外し方法

・ステップを固定している2カ所のノブナットをゆるめ、ネジを抜き、矢印の方向にステップをずらしながら取り外します。

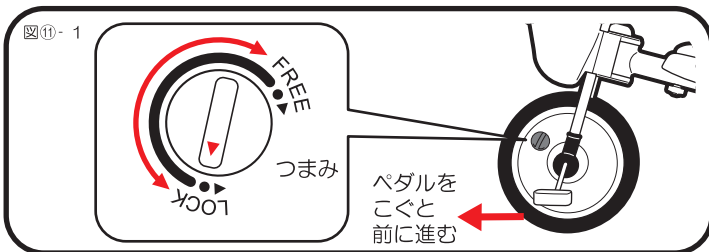
図⑩-2
ステップホルダー

・ステップホルダーを取り外します。

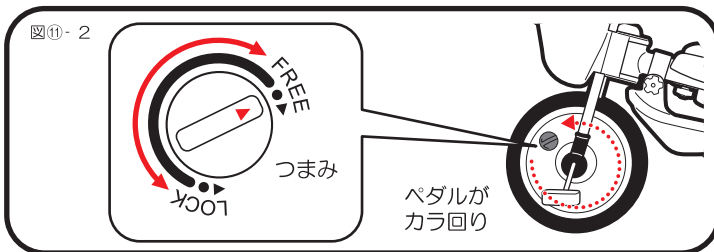
・サドルネジからノブナットを外し、ステップ取り付け部品を外します。
・ステップ取り付け部品を傾け、前方へスライドさせ取り外します。
・ノブナットを再度サドルネジに取り付けます。

⚠警告
●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

注 意
●ステップの取り外しは保護者が行ってください。
●サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

⑪ ロック&フリーの取り扱い

●ロック状態

・お子様がペダルをこいで使用する場合は『つまみ』の▲印をLOCK(ロック)に合わせてください。

〔つまみをロックにすると・・・
前輪とペダルが連動します。お子様自身がペダルをこいでご使用になる場合はこの状態にしてください。〕

●フリー状態

・保護者がコントロールバーで押す場合は『つまみ』の▲印をFREE(フリー)に合わせてください。

〔つまみをフリーにすると・・・
前輪とペダルが連動しません。保護者がコントロールバーの操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。〕

フリー機能の説明

フリーにしても前輪とペダルが一緒に回転する場合がありますが、ペダルを手でおさえた状態で前輪が回転すれば異常ではありません。フリー機能はペダルがステップなどに当たっても三輪車が不意に止まってしまったり、お子様がペダルとステップの間に、万が一足を挟んでも怪我をしないようにするための機能です。

必ず確認してください。

●ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック & フリー機能をフリーにしてください。
ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり、ステップが破損する恐れがあります。

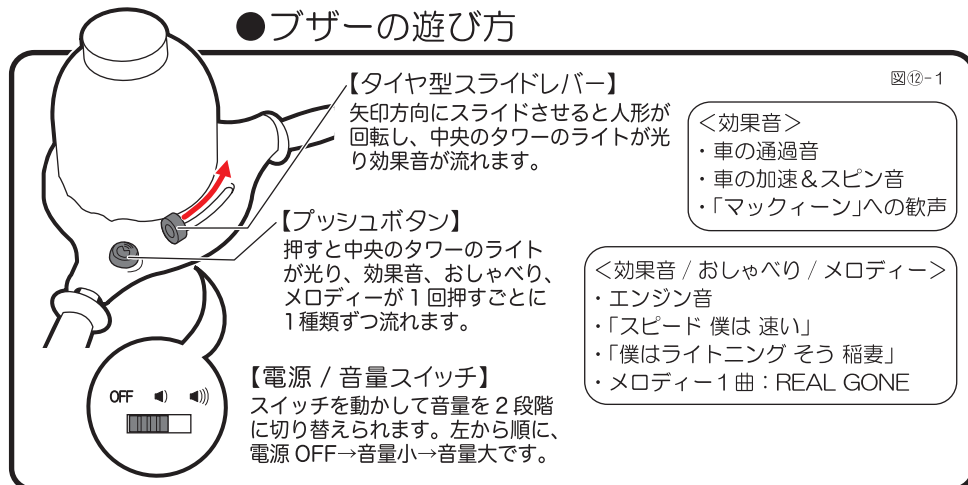
⚠警告

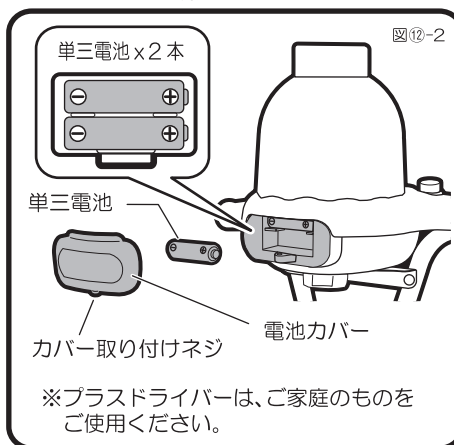
●ロックの状態でコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。
●お子様が三輪車に乗った状態でのロック&フリーの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。
●坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。

注 意

●ロック&フリーの切り替えは、保護者が行ってください。
●ご使用になる前は、必ずロック、フリーの確認を行ってください。
●水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる場合があり、故障の原因になります。

⑫ ブザーの取り扱い

●ブザーの遊び方

・プッシュボタンとタイヤ型スライドレバーで遊べます。
・ブザー後方の側面には電源 / 音量スイッチが付いています。
・遊んだあとは必ずスイッチをOFFにしてください。

●電池の交換

・カバー取り付けネジをプラスドライバーでゆるめます(カバー取り付けネジは、電池カバーから外れません)。
・単三電池2本を交換してください。

⚠警告

●カバー取り付けネジは電池カバーから外れない構造になっていますが、万が一分離した場合はネジの紛失や誤飲にご注意ください。

注 意

●ブザー本体が車体に確実に固定されていることを確かめてください。
●ブザー本体及びスイッチ・ボタン類は水に濡らさないでください。故障の原因になります。
●ブザー本体に砂状のものをかけたり、すき間に小石等の異物を入れないでください。故障の原因になります。
●ブザーの取り付け、取り外しは保護者が行ってください。
●寿命の尽きた電池をブザーに入れたままにしないでください。液もれ等により故障の原因となります。
●ブザーの屋外での保管は外気候の影響等で故障の原因になることがあります。ブザーは取り外して室内での保管を推奨しております。
●充電池(ニカドなど)およびニッケル系乾電池(オキシライド乾電池など)は使用しないでください。
●電池が減った状態で使用していると、音が鳴りにくくなったり勝手に鳴ったり、同じ音を繰り返したり、途中で途切れることがあります。早めに電池を交換してください。
●ブザーの電子音、光などで不具合を感じた場合、まずは新しいアルカリ電池に交換してください。

三輪車 組み立てチェック表

ides

取扱説明書にそって三輪車の組み立てが完了しましたら、以下の最終チェックを行ってください。
(※お子様が三輪車に乗っている状態でチェックしないでください。)

✓チェック

【後輪】

- [ ] ①両方の後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。
- [ ] ②ホイールキャップがきちんとはまっていることを確認してください。

【ハンドル】

- [ ] ③ハンドル金具の上面とヘッドピンの間に隙間が空いていないことを確認してください。
- [ ] ④ヘッドピン下の先端の溝にハンドルストッパーが取り付けてあることを確認してください。

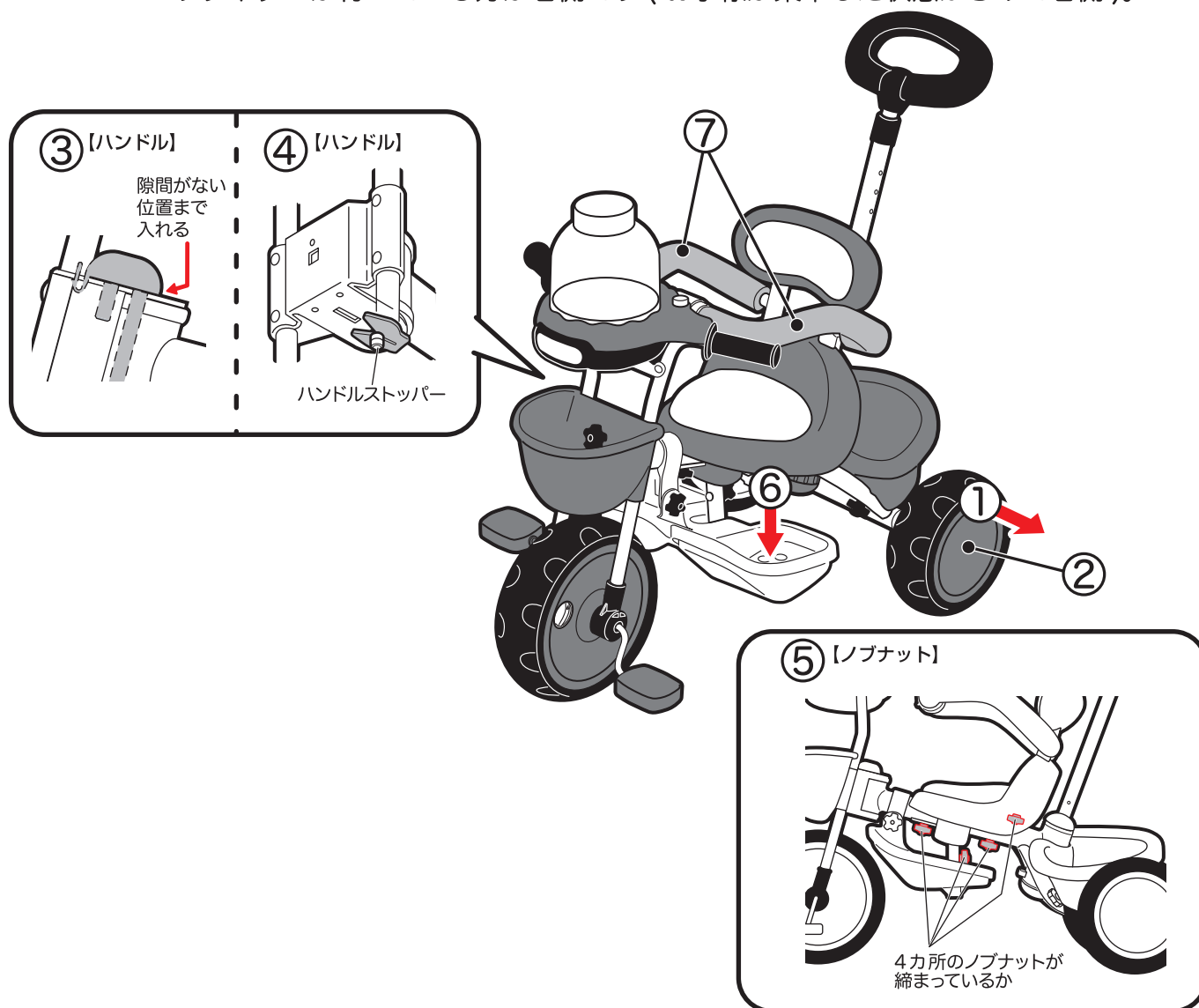
【ノブナット】

- [ ] ⑤サドル下の4カ所のノブナットがしっかり締まっていることを確認してください。

【ステップ】

- [ ] ⑥ステップを上から押して、外れないことを確認してください。

【安心ガード】

- [ ] ⑦安心ガード左右の取り付けが合っていることを確認してください。
  ロックボタンが付いている方が右側です (お子様が乗車した状態からみて右側)。

✓チェック

【背もたれ】

☐ ⑧後ろの 2つのボタンが背もたれの面と同じ位置まで出ていることを確認してください。
☐ ⑨背もたれだけを持って三輪車本体を持ち上げ、背もたれが外れないことを確認してください。

【コントロールバー】

☐ ⑩コントロールバーのピンが穴から出ていることを確認してください。
☐ ⑪コントロールバーを上方向に引っぱり、抜けないことを確認してください。

【前バスケット】

☐ ⑫ノブネジが締まっていることを確認し、前バスケットが外れないことを確認してください。

【後バスケット】

☐ ⑬ノブナットが締まっていることを確認し、後バスケットが外れないことを確認してください。